

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	淀川区
学 校 名	神津小学校
学校長名	尾崎 士郎

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・神津小学校では、第6学年 38名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語の平均正答率において、大阪市平均・全国平均よりそれぞれ7ポイント・8.7ポイント（昨年度は2p・2.2p下回った）低かった。「書くこと」の領域では、昨年度よりポイントが向上し、大阪市・全国平均との差が縮まった。しかし、どの領域においても、大阪市平均・全国平均を下回る結果となった。昨年と比較し、国語力全般に課題が残る。

算数の平均正答率において、大阪市平均・全国平均よりそれぞれ4ポイント・5.4ポイント（昨年度はともに5p・5.5p下回った）低かった。「数と計算」「変化と関係」の領域で、昨年度よりポイントが向上し、大阪市・全国平均との差が縮まった。しかし、どの領域においても、大阪市・全国平均を下回った。昨年度と比較し、大阪市・全国平均との差が縮まっているが、引き続き課題が残る。

平均無回答率は、昨年度より向上し、国語・算数ともに、大阪市平均・全国平均を上回る良い結果であった。最後まであきらめず粘り強く問題に取り組もうとする意欲は、とても高いことがわかった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕本校では、令和3年度より継続して国語力の向上を図る取り組みをしている。昨年度の大阪市学力経年調査の結果では、初めて大阪市標準化得点を上回ることができた。昨年度より、課題であった「書くこと」の領域において、大阪市・全国平均との差を縮めることができた。しかしながら、どの領域においても課題が残った。これまでの成果として、児童の学習意欲の高まりが、今後のよりよい学習理解につながるように取り組んでいく。

〔算数〕本校では少人数指導の機会を継続し、学力の向上を目指して取り組んでいる。また、長期休業中のチャレンジ学習や放課後ジャンプアップ学習会の取り組みも実施し、学力の底上げを図っている。基礎学力の充実を図ったことで「数と計算」「変化と関係」領域や全体の結果としては、昨年度より大阪市・全国平均との差を縮めることができた。今後も、継続して課題解決型学習を通して、さらに学習理解が深まるように取り組んでいく。

全体を通して、最後まであきらめず問題を解こうとしており、昨年度より無回答率が全国・大阪市平均より良い結果となった。国語・算数の教科アンケートにおいても、「国語（算数）は好き」、「国語（算数）は大切だと思う」「国語（算数）の授業内容はよく分かる」の肯定的回答が大阪市・全国平均を上回る結果となった。これは、教職員の研究、指導力向上、児童理解の成果であると思われる。今後も、学習内容や学習指導の研究を進め、学習理解を深めていく取り組みを継続していく。

質問調査より

今年度は、昨年度までとちがい、自己肯定感・自己有用感が全体的に高まってきている。「自分には、よいところがあると思いますか。」「将来の夢や目標を持っていますか。」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。」の質問において、全国平均より高い結果が出ている。また、昨年度に続き「学校に行くのは楽しいと思いますか。」の質問でも、全国平均より高い結果が出ている。今後も引き続き、日々の学習や行事を通して成就感や達成感を持たせるように指導していく。

学習面では、計画的な学習や家庭での学習の習慣も定着している割合がよくなっているが、大阪市・全国平均には満たない状況である。

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。」「人が困っているときは、進んで助けていますか。」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」の質問においても、全国平均を上回る結果が出ており、これからもより良い関係の中で、学校生活が送れるように取り組んでいく。

今後の取組(アクションプラン)

- 学力の向上を図るため、
- ・算数科・国語科を中心に、基礎基本を確実に定着させ、「わかる」「できる」が体感できる授業をおこなう。
 - ・少人数学習の機会の充実を今後も継続させ、「個に応じた指導」を丁寧におこなう。
 - ・教科において専科指導を実施する。
 - ・放課後ジャンプアップ学習会や長期休業時のチャレンジ学習の取り組みを継続する。
 - ・今後もICT機器を活用した授業、デジタルドリルの活用など授業改善に努める。
 - ・国語科の授業研究をさらに進め、すべての教科の基礎となる言語力の育成を図るとともに、「主体的・対話的で深い学び」を実現させる。
 - ・非認知的能力（集中力やあきらめず最後まで努力する力）、立腰教育の実践等に取り組み、自己肯定感や自己有用感、レジリエンス「折れない心」を育成する。

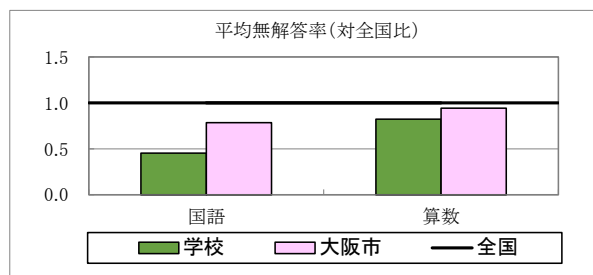
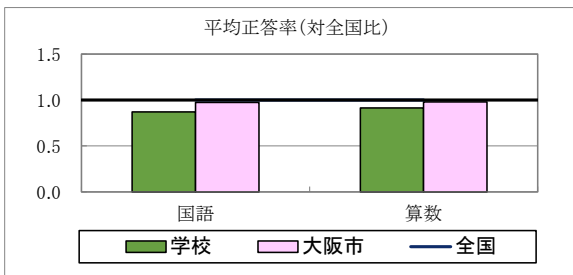
【 全体の概要 】

平均正答率（％）

	国語	算数
学校	59	58
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4

平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	1.9	2.8
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



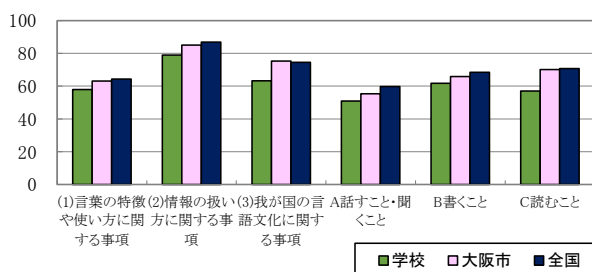
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	57.9	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	78.9	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	63.2	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	50.9	55.3	59.8
B 書くこと	2	61.8	65.9	68.4
C 読むこと	3	57.0	70.1	70.7

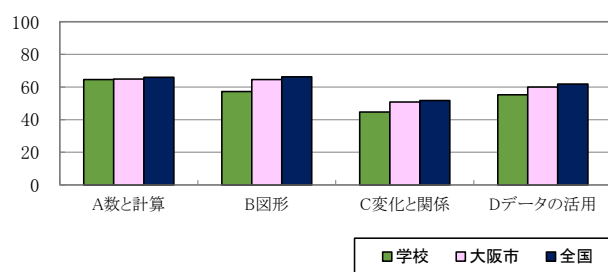
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	64.5	64.8	66.0
B 図形	4	57.2	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	44.7	50.8	51.7
D データの活用	4	55.3	60.0	61.8

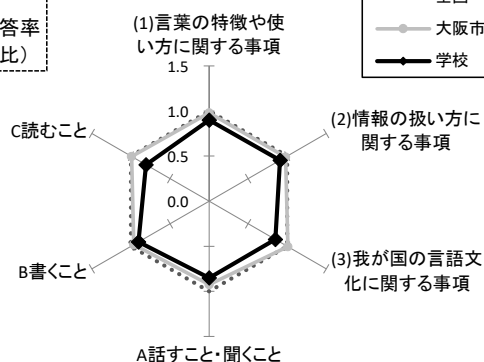
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



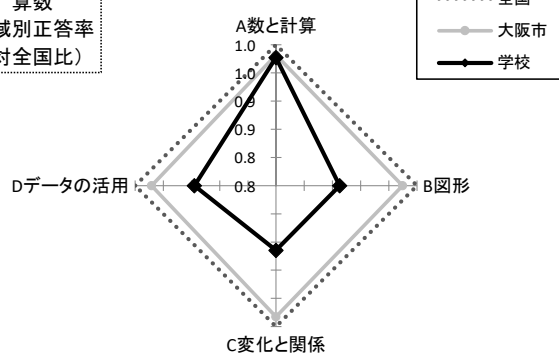
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)



算数
領域別正答率
(対全国比)



児童質問より

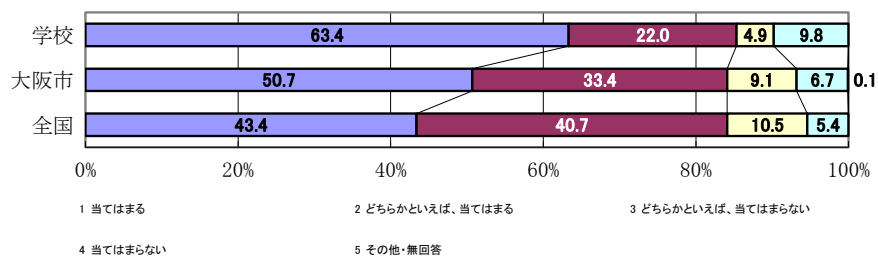
質問番号

質問事項

9

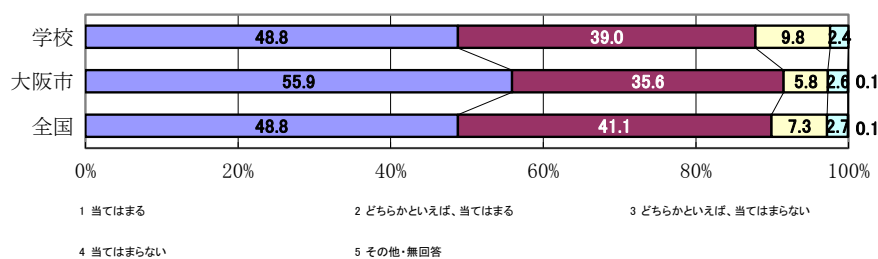
自分には、よいところがあると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



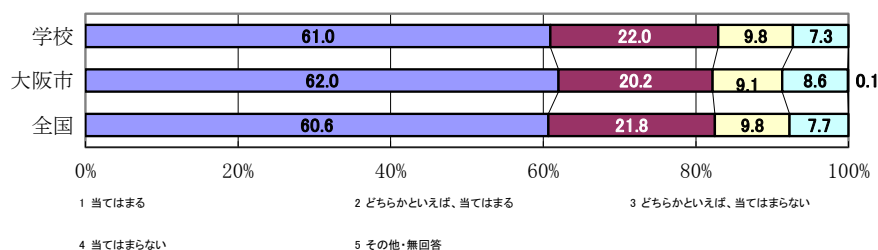
10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



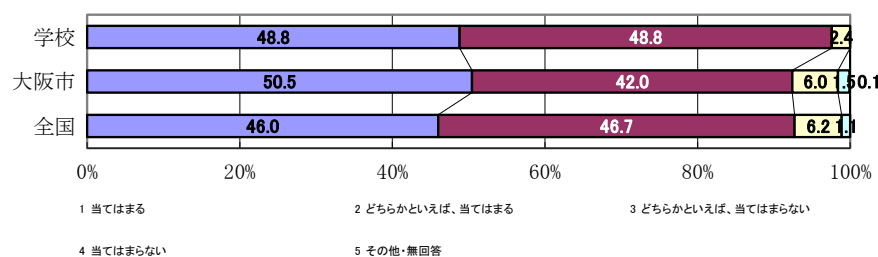
11

将来の夢や目標を持っていますか



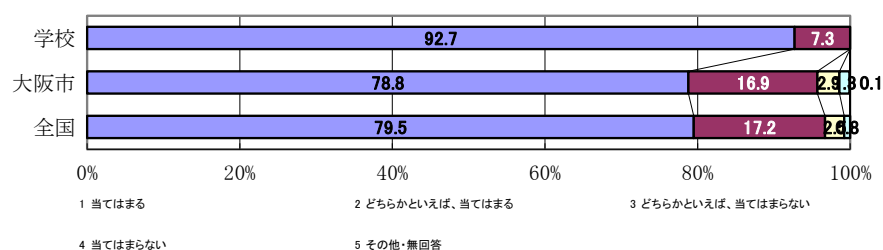
12

人が困っているときは、進んで助けていますか



13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



児童質問より

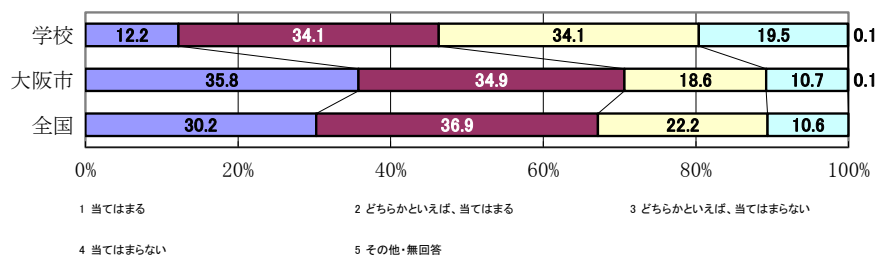
質問番号

質問事項

14

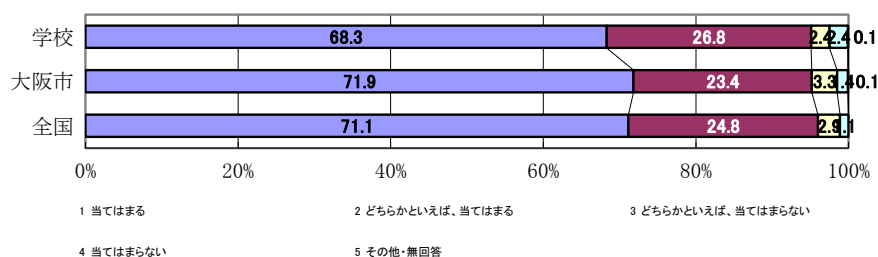
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか

1 2 3 4 5 6 7 8



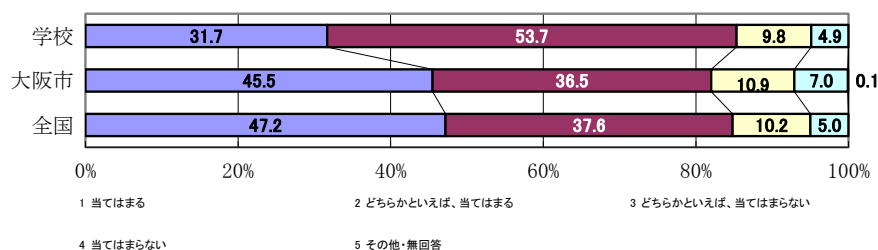
15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



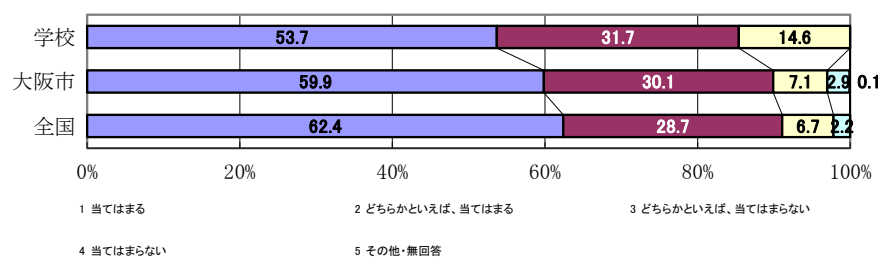
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



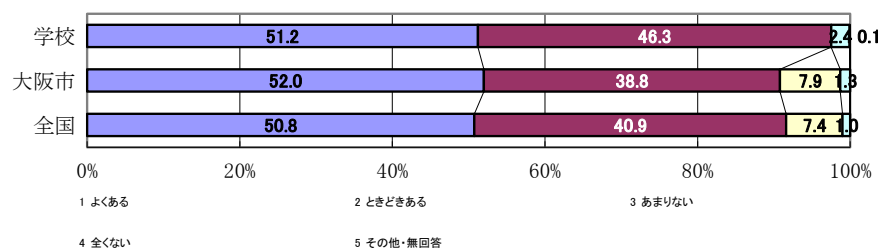
18

友達関係に満足していますか



19

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



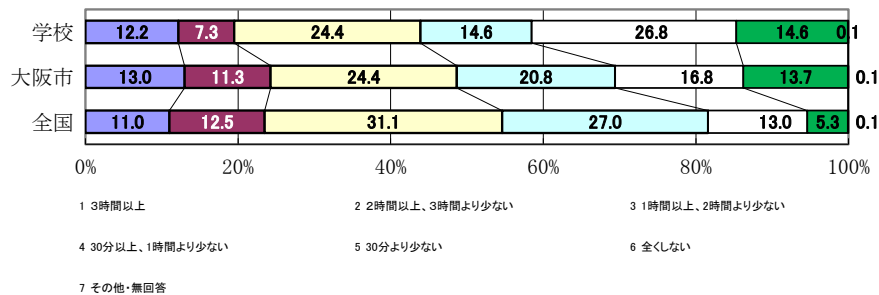
児童質問より

質問番号

質問事項

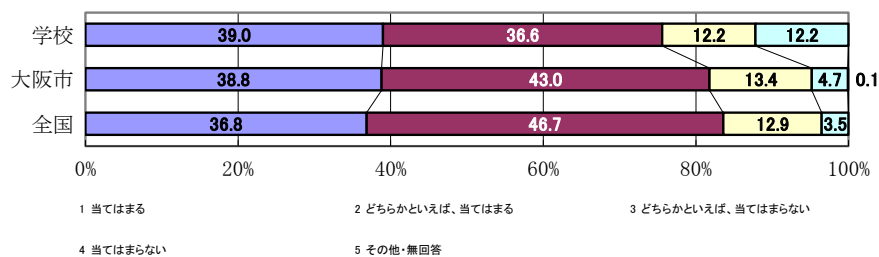
21

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



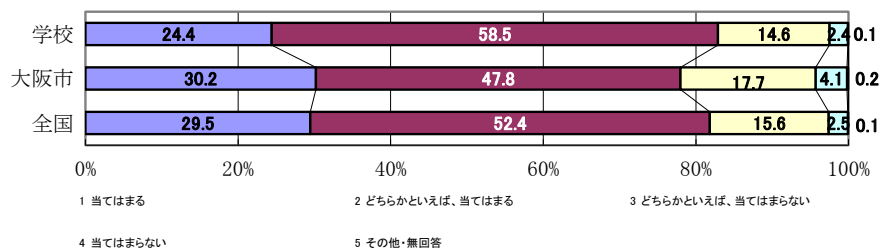
25

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



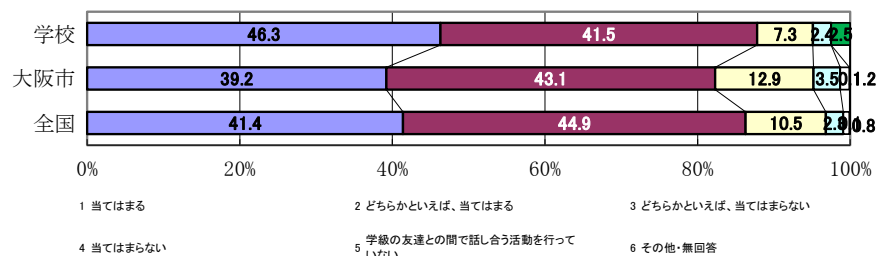
30

5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



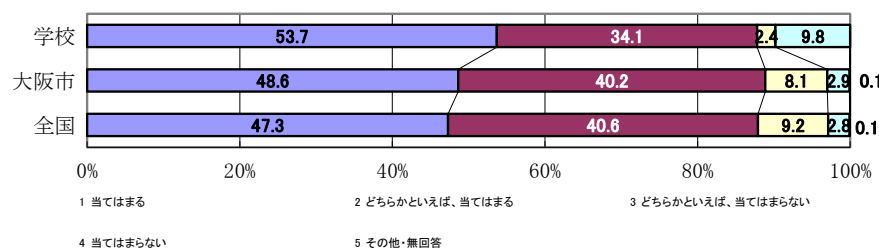
33

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



36

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



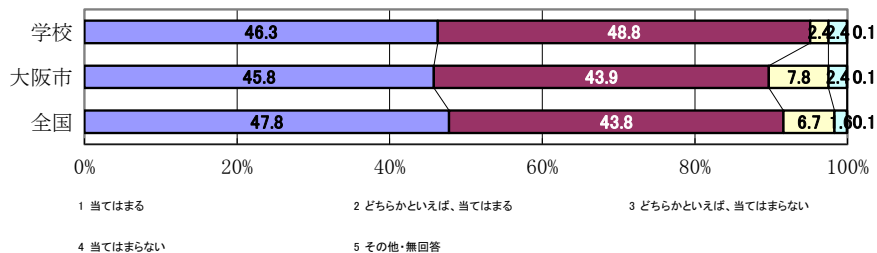
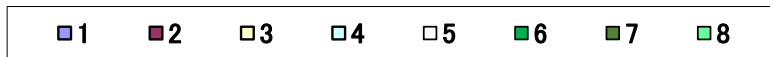
児童質問より

質問番号

質問事項

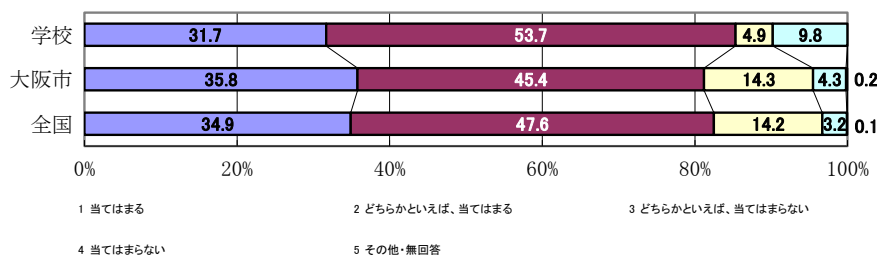
37

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



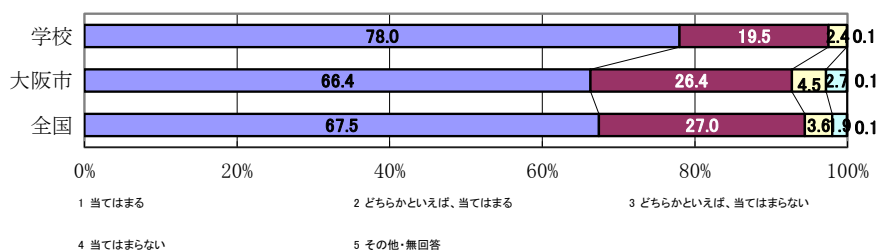
40

学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか



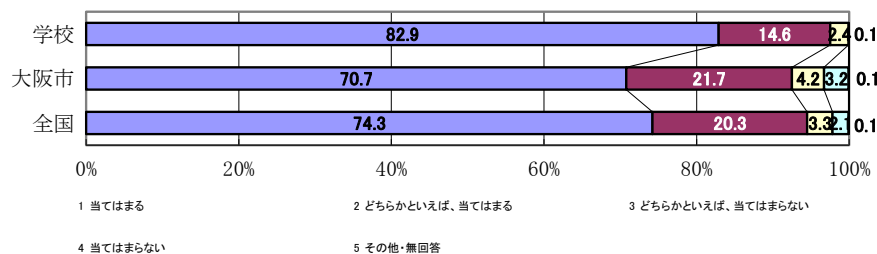
43

国語の勉強は大切だと思いますか



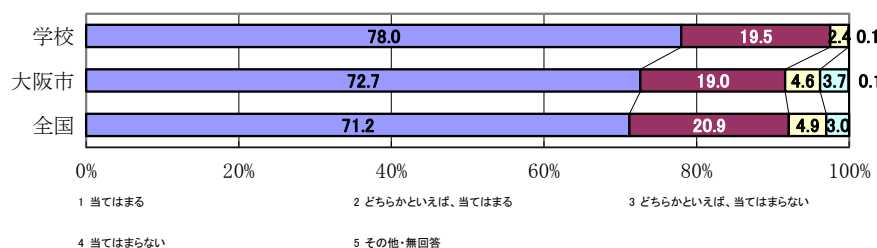
51

算数の勉強は大切だと思いますか



62

英語の勉強は大切だと思いますか

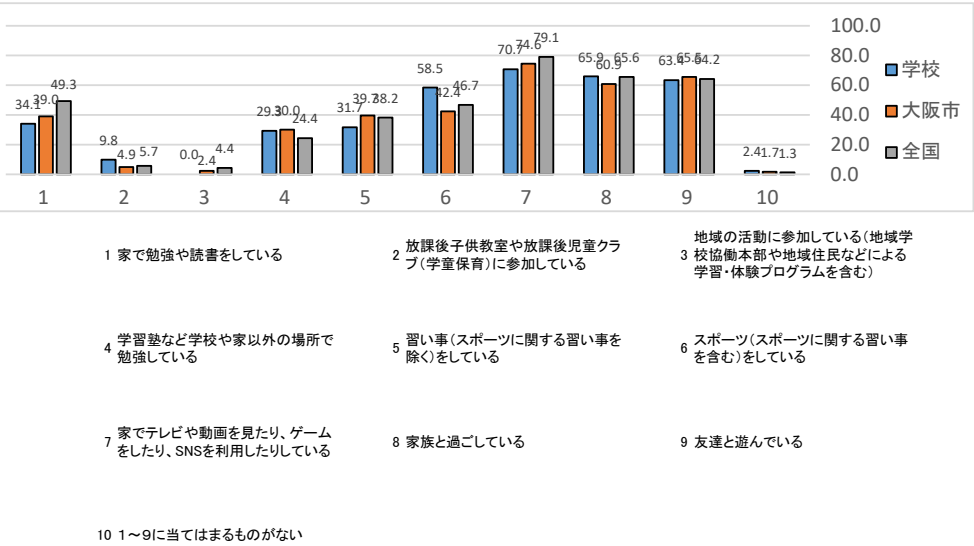


児童質問より(26)

質問番号
質問事項

26

放課後や週末に何をして
過ごすことが多いですか
(複数選択)



学校質問より

質問番号

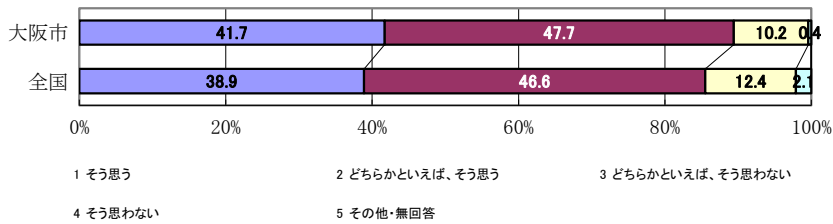
質問事項

7

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



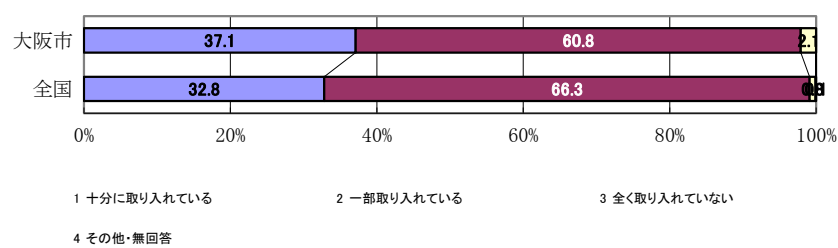
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



11

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

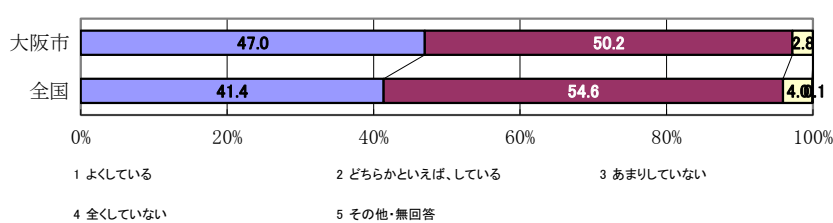
学校 「一部取り入れている」を選択



15

言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

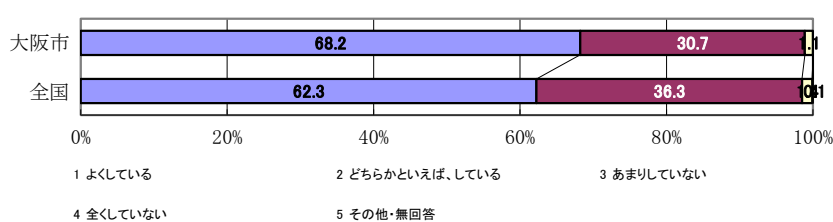
学校 「どちらかといえば、している」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

学校 「よくしている」を選択



17

児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択

